



しんじ新聞



No. **248** *いつもありがとうございます!*
 2012年10月
品川区議会議員
無所属
高橋 しんじ



※毎週、区政や区内の出来事についてご報告しています

☆☆ 品川区イス ☆☆

公立小中学校にはいろいろな決まりがあります。正しいものを1つ選んで下さい。

- ①ある小学校の修学旅行に、校長は風邪、副校長は別の出張があり、**どちらも同行できなかった**ので学年主任が同行して実施した。
- ②ある中学校で、体育の先生が教育委員会に届出をして**社会科の授業**をしている。
- ③ある小学校では、来訪者の喫煙に配慮するため、**空き教室を喫煙所**にしている。
- ④ある中学校で、他校との練習試合に顧問(教員)は同行せず、**コーチ(外部指導者)だけが引率**した。



◎難易度 ☆☆☆☆☆

Q:区は、区民と民間井戸を災害時に活用する協定の締結を。また、手動ポンプを貸与して活用を。

A:消防庁は、「区内では、消防水利は、ほぼ確保している。また、城南地区の井戸では、十分な水利が確保できないので、新たな水利として検討していない」としている。区民との協定による民間井戸の活用は、引き続き研究していく。☆他区を参考に有効活用の検討を

Q:①震災時の津波に対する高台への避難が間に合わない恐れがある。津波避難ビルの確保を早急に。②民間マンションの防災対策への啓発を。③民間マンションの耐震ドアへの費用助成を。

A:①ビルの指定には、ビル所有者の意向やビルの耐震性の確認が必要。多くの地区で確保するにはまだ時間を要するので、**高台への避難を基本的な考え**とし、避難ビルの指定を鋭意進めていく。②パンフレットを作成し、普及を図る。③個人財産に関わる事項なのでそれぞれの判断で備えるべきと考える。ドアの交換は、管理組合の承認が必要なので、大規模修繕時にマンション全体の防災力向上を検討してほしい。



本会議の質問報告②

9/20に第3回定例会本会議が始まりました。一般質問(各会派から1~2人が質問します)の質疑応答の一部をご報告します。**Q:他議員の質問(1人20分×11人) A:区側の答弁(区長など部長以上の管理職が答弁します。答弁も約20分) ☆:私のコメント ◎24年度予算額**

■一般質問(防災関係)

Q:緊急時は、防災無線での呼びかけは、丁寧な口調ではなく、命令口調の徹底を



A:時間的に猶予がなく、切迫した状況においては命令口調による避難指示を行うよう徹底する。

◎防災行政無線管理費 6463万円

☆防災無線は、聞き取りにくい地域があります。常に点検の徹底を!

Q:東京都は、危機管理官に元陸上自衛隊員を就任させた。区でも採用を。

A:区には、**東京消防庁や警視庁から4名の職員が派遣**されている。防災訓練に自衛官も参加している。自衛隊出身者は在籍していないが、今後更なる連携強化に努める。

※危機管理官=東京都に在籍し、災害時に警察・消防・自衛隊などとの連絡調整を行う。

高橋しんじ 事務所

東京都品川区東大井 4-13-11-304 〒140-0011
 TEL:03-5461-8757 FAX:03-5461-8763

E-mail: takahashi-shinji@spa.nifty.com

ホームページ: [品川区 高橋しんじ](#)

☆過去の『区政報告』がHPでご覧になれます。

☆『区政報告』への感想をぜひお寄せ下さい。

☆『区政報告』をお店の片隅に置かせて下さい。

高橋しんじプロフィール

平成23年4月5,232票(1位)のご支持をいただき、現在2期目。若草幼稚園、品川区立鈴ヶ森小・中学校、早実高、早大(政経学部政治学科 専攻は地方行政)・同大学院博士課程で学ぶ。東大研究員、塾などを経て、教師(早実高、都立日比谷高・青山高・大森高)。軟式野球ルーキーズ監督。平成19年4月、無所属・新人として初当選(2541票)。

『議員力検定1級』(22年12月合格)

☆初心を忘れずにガンバります!

しがらみのない無所属



区政報告

No.248 2012年 10月

発行所 みんな・無所属 品川
発行者 高橋慎司
〒140-8715 品川区広町2-1-36 5階
Tel 03-5742-6816 Fax 03-3772-8878

☆区政へのご要望をお寄せ下さい!!
☆ご希望の方に「区政報告」をお届け(郵送他)いたします。ご連絡ください。

一般質問

Q:大井第一地区などの広域避難場所は、大井競馬場。震災時に標高の低い場所に逃げるので、地域住民は不安をもっている。変更しないのならば、区の責任で広域避難場所の津波対策等を講じ、安全確保を。

A:都が4月に公表した新たな被害想定でも「品川区内では、津波による大きな震災被害は考えにくい」とされたが想定外規模の津波への備えとして、区は津波ワークショップで対策を充実させている。また、広域避難場所は、広範囲な火災延焼から避難する場所として都が指定する。区では、津波発生の恐れがあるときは、最寄りの安全な場所に避難するなどの避難の考え方を整理し、周知を図っている。

☆津波ワークショップ=南大井・東大井地区の区民への津波自主避難マップ作成の説明会(全4回)。約200名が参加し、地域の皆さんの防災意識の高さを感じました。

Q:24年4月現在、区内には、3歳未満の子どもが約9千人。そのうち幼稚園や保育園に在籍していない子どもは、約5800人で64%に上る。在宅子育て家庭支援、居場所づくりを今後どう進めるのか。

A:在宅子育て家庭の孤立化は重要課題と考える。乳幼児人口は、特に大崎・荏原地区で顕著に増加している。ニーズを的確に把握し、親子サロンや子育て広場事業等の対応を検討する(現在、具体的な計画はない)。

◎親子サロン整備事業(児童センター内)312万円
☆自由に利用できる児童センター内の親子サロン利用者がとても多いが、センター以外でも居場所づくりの展開をする必要があります。

クイズの答え:②東京都以外の他自治体の公立中学校では、様々な事情からやむを得ず行われ、課題となっています。①④校外の教育活動には、教員の引率(修学旅行等は管理職)が必要。③敷地内禁煙

あの街ズームイン!

◇佐賀県武雄市、ユニークな部署名

武雄市(たけお、人口約5万2千人)は、江戸時代に長崎街道の宿場町として栄えた。樋渡市長(42)は、ポロツツに短パンというウルトラ・ルビズで知られる。来春から市立図書館業務をイタルビデオ大手TSUTAYAの運営企業に委託することでも話題<ユニークな部署名>つながる課(広報、男女参画等)、お結び課(市内男女の縁結び事業)、九州物語係(他自治体との観光振興連携)、たっしゃか係(高齢者福祉等)、楽しい食卓係(食育の推進等) 参考:10/7 毎日新聞



Q:高齢者の単身世帯だけでなく2人以上の世帯の孤立死防止対策を。

A:基本は、地域の皆様の多様な関わりを増やすことです。区は、生活リズムセンサーの普及、地域での見守り活動等で世帯全体の状況把握に努め、変化に対応して適切な対応をするため、ケースワーカーや地域の関係者との情報共有化と連携をさらに強化する。

☆『生活リズムセンサー』とは、ひとり暮らしの高齢者などの安否を確認する緊急通報システムの1つ。日常的に利用するトイレの扉、玄関ドア等にセンサーを付けて、一定の時間がたっても動作が確認できない場合に、警備会社などに自動的に通報されるシステムです。 ◎緊急通報システム1690万円



◇お問合せ:高齢者福祉課5742-6728
区における孤立死は、21年18件、22年25件、23年14件にも上ります。2人以上の世帯にはおきていませんが、区は、今後も孤立死ゼロを目指して、地域の方々のご協力を得ながら、孤立死防止ネットワークの強化を進めることを切望します。

Q:6/1から開設された大井林町高齢者住宅(東大井4丁目)に入居された方々の声と課題は?

A:8月に入ってからは、落ち着いた雰囲気の中、徐々に生活圏やコミュニティも広がっている。一方、多少介護が必要な方の中には、新しい環境になじめずにいる方もあるが運営者のさくら会スタッフが不安や悩み事の解決に当たっている。



朝、駅前にいます!

◎『区政報告』をお配りしています。
◎議会等の事情で変更する場合があります。
◎見かけたらお気軽にお声をおかけ下さい。

月・水 JR大井町駅前
火 京急青物横丁駅前
木 JR大森駅前
金 京急立会川駅前
☆ 各7:00-9:30頃